

まちづくりの基本方針

1 新市の将来像

新市は、首都東京から約30～60kmに位置することから、相模原地域を中心に急速な都市化が進み発展してきました。一方、津久井・相模湖地域は、相模湖、津久井湖、宮ヶ瀬湖などにより神奈川県重要な水源地域となっており、丹沢大山国定公園に指定されている豊かな自然環境を有しています。今後は、さがみ縦貫道路や津久井広域道路の整備により、広域的な交流拠点としての更なる発展の可能性が高まっています。

このため、新市においては、広域交流拠点都市としての機能の充実を図りつつ、水源地域を保全・活用し、豊かな自然環境と共生した都市基盤の整備や産業の振興を推進するとともに、住民一人ひとりが主体となり、新市に住む人が将来にわたって安心して質の高い市民生活を実現できるまちづくりを目指します。

『自然と産業が調和し 人と人がふれあう 活力ある自立分権都市 相模原』

～森が育む水の力 水がそだてるまちの力
まちにいきづく人の力 地域の力と魅力を活かしたまちづくり～

2 まちづくりの考え方

地方分権時代にふさわしい新市を創っていくためには、都市を経営するという視点に立って、協働と分権によるまちづくりを進めるとともに、効率的・効果的な財政運営を推進することが不可欠です。

このため、市民一人ひとりが主体的にまちづくりに関わることによって、地域コミュニティやまちづくりを担う多様な活動の活性化を図り、都市内分権を進めることが重要です。また、市政の計画・実施・評価のすべての段階における市民参加を促進し、市民のニーズが的確に反映された、市民の満足度を高める施策の展開が求められます。さらに、民間活力の積極的な導入やIT化の推進、事務事業や組織体制の見直しなど、最小の経費で最大効果のサービスを提供していく必要があります。

(1) 協働と分権

市民一人ひとりが支え育て合う自立した社会を作り、誰もが住みよい地域社会の形成を目指すため、協働と分権の視点に立ったまちづくりを進めます。このため、広報・広聴活動の充実に努め、男女共同参画の理念を踏まえて市民の市政への参画機会を拡充するとともに、都市内分権を推進します。

(2) 効率的な財政運営

市民一人ひとりが納得しうる質の高い市政運営を行うために、効率的・効果的な財政運営、職員の資質の向上、情報公開の推進、近隣市町村との連携などに努めます。

基本目標と施策体系

1 基本目標

基本目標

交通、都市基盤

人、自然、産業、文化...新しい都市の 交流と発展を支える 質の高い交通・都市基盤をめざす

都市の健全な発展と市民生活の利便性や快適性の向上、そして人、自然、産業、文化など様々な交流の架け橋という観点から、骨格となる交通網の強化と質の高い都市基盤の整備が重要となります。

このため、さがみ縦貫道路、津久井広域道路等の早期整備を図るとともに、鉄道輸送・バスネットワークの強化、新しい交通システムの導入等に取り組むことにより、国道を中心とした交通渋滞の解消と、高齢化や日常生活圏の拡大に伴う多様な交通ニーズに対応した公共交通網の確立を目指します。

また、新市の核としての中心市街地や多様な拠点の形成に向けた基盤整備を図るとともに、水源地域の保全に向けた上下水道の整備や高度情報化に対応する情報基盤の整備、公園等市民の憩いの場となる空間の整備、美しい都市景観の形成等を進め、快適で魅力ある居住環境の創造を目指します。

基本目標

自然・環境

自然の豊かさを日常的に感じるまちをめざす

津久井・相模湖地域は広大な森林や清流、湖など多岐にわたる豊かな自然環境に恵まれており、神奈川県重要な水源地域となっています。また、自然と都市の融合や自然と人との共生をまちづくりの基本に、日常的に暮らしの中で自然を身近に感じられるようにすることにより、人々の自然に対する意識をより深いものとするのが求められています。

このため、水源涵養、治水、保健休養等の森林の有する公益的な機能に配慮した保全策を推進するとともに、自然環境に対する意識を啓発し、河川、湖の水質の向上を図るなど、水源地域の総合的な環境の向上を目指します。

また、市街地周辺においても相模川などの水辺や斜面林がみどりの軸を形成しており、市街地に残された貴重な平地林である木もれびの森や、緑地としての農地などと良好なみどりを形成することにより、都市内部でも自然を感じられるうらおいと風格のあるまちづくりを目指します。

さらに、限られた資源を大切に循環型社会の形成を目指すとともに、廃棄物の適正処理を目的とした施設整備を行うなど、環境に配慮した取組みを進めます。

基本目標

産業、観光、土地利用

地域経済を支えるために生活・自然環境と調和し、 地域特性を活かした産業創生をめざす

新市の活力ある発展とゆとりある豊かな市民生活の実現には、多様な産業の振興と計画的な土地利用の推進が重要となります。

このため、新たな産業の誘致や大学・研究機関、インキュベーション施設と連携した工業振興に取り組むとともに、生活の核となる個性的・魅力的な商店街の形成を図るほか、水源地域を有する豊かな自然環境を生かした農林業の振興や、観光拠点の形成を目指します。

また、さがみ縦貫道路や津久井広域道路の整備を踏まえた計画的な土地利用を進めるとともに、市街地の高度利用や農林地域での適切な土地利用など、地域の状況に応じた土地利用を図り、良好な居住環境の保全及び創造と秩序ある都市の発展を目指します。

基本目標

教育・文化、保健・医療・福祉、安全・安心

心の豊かさを育み、安心して生き活きたした 市民生活の実現をめざす

生き活きたした安全・安心な市民生活を実現するためには、心豊かな人づくりや人にやさしいユニバーサルなまちづくりが重要となります。

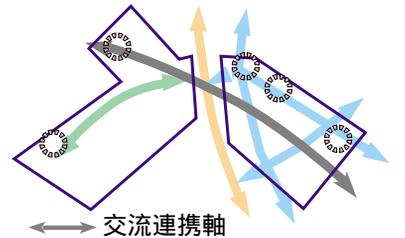
このため、教育環境の充実や自然、文化などの資源の活用による人間性豊かな教育の実現とともに、医療機関や福祉施設と家庭、地域とが連携した保健・医療・福祉体制の確立により、市民だれもが安心して生活できる地域社会の形成を目指します。

また、市街地から山間部まで、その地域特性に応じた防災・防犯対策を進め、市民が安全に安心して生活できるまちづくりを目指します。

2 合併シンボルプロジェクト

1 地域連結夢プロジェクト

新市の生活や経済の活性化を支え、広域的な交流や情報発信を進めるためのインフラとして、幹線道路の早期実現を図るほか、鉄道網の充実に向け津久井地域への鉄道の延伸を促進し、新しい交通システムの導入を検討します。これにより、地域の交通の利便性、快適性の向上を推進し、新市の一体化を図ります。

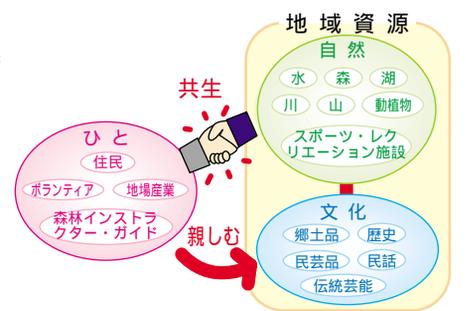


【主な事業】

- 骨格幹線道路の整備（さがみ縦貫道路、津久井広域道路 など）
- バスネットワークの充実
- 新しい交通システムの導入検討

2 市民のオアシスプロジェクト

“市民のオアシス”として、うらおいとやすらぎのある新市づくりを進めるため、水源地域の山、川、湖などの優れた自然や地域固有の風土・文化を守るとともに、その活用を図ります。また、都市部においても、市民の憩いの場となる魅力ある快適空間の創出に取り組みます。



【主な事業】

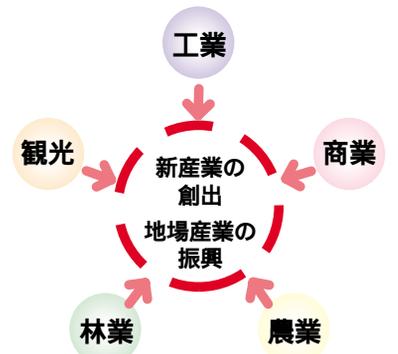
- 自然に親しむ空間整備事業（森林ミュージアム、オートキャンプ場、ハイキングコースの整備 など）
- 伝統文化の保存活用

3 まち+水源地=産業創生プロジェクト

新市は、まち（都市部）と水源や森林など豊かな自然を併せ持つことから、その特色を生かして、人々の交流を促進し、やすらぎと魅力ある観光産業の振興を図ります。

このため、多様なイベントの有機的な連携を図るとともに、観光拠点の整備を進めます。

また、豊かな自然環境や、交通の利便性など首都圏における立地特性等を活かして、骨格幹線道路の整備に伴う周辺土地利用の活性化を図り、企業誘致を進めるなど、新市の産業創生に取り組めます。

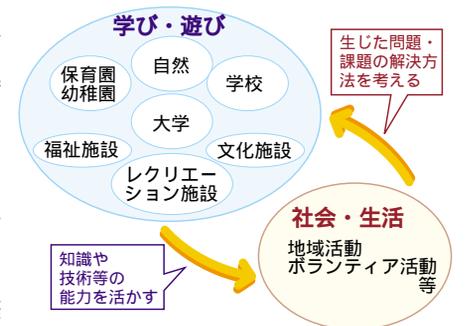


【主な事業】

- 新たな産業の創出事業（企業立地基盤の整備と誘致、産学連携 など）
- 産業と観光が連携した魅力ある観光地づくり（観光拠点整備推進事業 など）

4 市民キャンパスプロジェクト

豊かな人間性を育む環境づくりを進めます。子どもから大人まで、あらゆる人が生涯にわたって学習することができる機会を提供することにより、生涯現役時代にふさわしい“生涯学習都市”を目指します。



【主な事業】

- 生涯学習キャンパスの展開（（仮称）市民・大学交流センターの整備、グリーン・カレッジの展開 など）
- 生涯学習の新しいネットワークの構築（図書館、博物館、公民館、大学などのネットワーク化）

5 安全・安心ネットワークプロジェクト

全ての市民が豊かに暮らせるよう、安全・安心なまちづくりを進めます。このため、保健、医療、福祉の充実を図ります。また、地域コミュニティの強化を図り、住民自らが地域を守るシステムを形成します。



【主な事業】

- 総合的な保健医療福祉施策の推進（（仮称）北地区保健福祉センターの整備、特別養護老人ホーム等の整備促進 など）
- 防災・消防対策の強化（地域防災活動の支援、消防施設の整備、防災無線整備 など）
- 安全・安心なまちづくりの推進（安全・安心まちづくり推進体制の構築、地域防犯活動の支援 など）